

## 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

高知県内で最初に設立された、犯罪被害者等への相談・支援事業を行う民間支援団体として、被害者等に対する電話・面接相談及び直接的支援、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに社会全体による被害者等に対する支援意識の高揚、被害者等の権利利益の保護並びに被害の早期回復及び軽減に資するため、平成29年度は、次の被害者等支援活動を実施した。また、平成29年11月23日には事務所を高知市越前町に移転した。

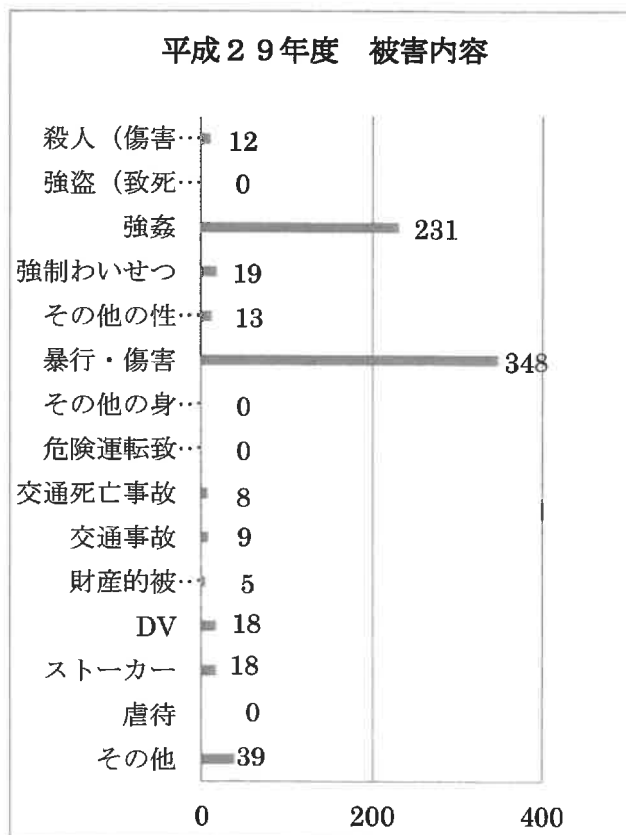
### 第1 被害者等に対する相談事業及び直接的支援事業

相談者のプライバシー等を保護する観点から独立した電話相談室1室と面接相談室2室を整備して、支援員等が、犯罪被害者等からの電話・面接相談、弁護士による法律相談等及び、被害者からの要請による裁判への付添い支援等の直接的支援活動を行った。内訳は次のとおりである。

相談日	土・日・年末・年始・祝日除く 244日		
相談受付時間	月～金10:00～16:00		
	29年度	28年度	
相談・支援 受案件数	相談事業 電話相談	381件	266件
	面接相談	63件	54件
	その他	25件	91件
	直接的支援事業 直接支援	251件	264件
	(弁護士による支援(再掲))	(167件)	(240件)
合計	720件	675件	

年度別被害相談内容

被害内容	27年度	28年度	29年度
殺人(傷害致死)	6	10	12
強盗(致死傷)	0	0	0
強姦	36	62	231
強制わいせつ	49	128	19
その他の性暴力	64	150	13
暴行・傷害	138	149	348
その他の身体犯	0	2	0
危険運転致死傷	0	0	0
交通死亡事故	44	64	8
交通事故	23	4	9
財産的被害・窃盗	6	1	5
DV	40	45	18
ストーカー	11	13	18
虐待	0	0	0
その他	76	47	39
計	493	675	720



## 第2 物品の供与又は貸与、各種付添活動を含む役務の提供等の方法による被害者等に対する直接的支援事業

犯罪被害者等の要望に応じた直接的支援を行った。

内訳は以下のとおりである。なお、物品の供与又は貸与ともになかった。

直接的支援の内容	29年度件数	28年度件数
警察関連支援	29件	13件
裁判関連支援	142件	196件
検察庁関連支援	22件	17件
病院への付添い	8件	13件
行政窓口等への付添い	1件	0件
自宅訪問	11件	0件
物品の供与・貸与	0件	0件
生活支援	0件	0件
弁護士による法律相談等	(167件)	(240件)
宿泊施設提供	2件	0件
支援金等の支給	0件	0件
その他	36件	25件
合計	251件	264件

## 第3 犯罪被害者等給付金の支給を受けようとする者が行う裁定の申請を補助する事業

平成29年度は申請補助がなかった。

## 第4 精神的被害に対するカウンセリング及び医療的処置を支援する事業

被害者等の精神的被害を軽減するため、登録臨床心理士等による心理相談（カウンセリング）事業については、平成29年度はなかった。

## 第5 経済的・精神的被害回復についての法的救済措置並びに二次的被害に対する対応及び軽減にかかる支援事業

平成21年2月2日、法テラス高知から「法テラス指定相談場所」としての指定を受け、刑事事件に関連する事案については弁護士とともに相談を受理しており、ほとんどの相談者が日弁連の犯罪被害者援助事業及び法テラスの民事・法律扶助制度を活用して、弁護士費用も無料で法律相談を受けることができるようになった。

また、当センターには、22名の弁護士（高知弁護士会犯罪被害者支援委員会12名及び個人登録10名）、4名の司法書士、3名の臨床心理士が登録されており、刑事裁判における被害者参加裁判や損害賠償請求での被害者参加弁護士等として、積極的な協力を得て、犯罪被害者等への支援活動を行っている。

（弁護士による支援活動 167件）

## 第6 犯罪被害者自助グループへの支援事業

犯罪被害者等の自助グループへの支援活動はなかった。

## 第7 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

### 1 公益社団法人全国被害者支援ネットワークとの連携

公益社団法人全国被害者支援ネットワーク主催の全国事務局長会議や中・四国ブロック会議での事務局長会議等に参加し、同ネットワーク加盟の支援団体と情報交換等を行い、連携を強化した。

### 2 性暴力被害者サポートネットワークこうちによる4者の連携

高知県、高知県警、高知県産婦人科医会及びこうち被害者支援センターの4者間で、性暴力被害者支援連絡会を、5月22日、7月20日、9月13日に開催した。

性暴力被害者支援のための「性暴力被害者サポートネットワークこうち」の中央地区での研修会を9月2日（土）高知大学医学部附属病院臨床講義棟において開催した。

また、平成30年度ワンストップ支援センター設置に伴い県下5病院へ、性暴力被害者支援の協力依頼の訪問を行った。（3/9高知医療センター・国立病院機構高知病院・高知大学医学部附属病院、3/19県立あき総合病院、3/20県立幡多けんみん病院）

### 3 犯罪被害者等支援関係機関連絡協議会の開催

当センターと法テラスの共催で犯罪被害者支援関係機関連絡協議会（参加機関・団体は、法テラス高知、高知地方検察庁、高知保護観察所、高知県文化生活スポーツ部県民生活・男女共同参画課、高知県警察本部県民支援相談課、高知弁護士会、高知県司法書士会）を次のとおり開催し、被害者支援についての情報の共有や連携の強化に努めた。

第1回 平成29年 6月27日

第2回 平成29年 9月26日

第3回 平成30年 1月30日

### 4 被害者支援連絡協力会への参加

各警察署管内で開催された被害者支援連絡協力会に参加し、当センターの活動を紹介するとともに被害者支援への協力を呼びかけた。

参加した開催日時等は、次のとおりである。

開催日	名称・場所
平成29年10月12日	四万十町被害者支援連絡協力会（窪川警察署）
平成29年11月17日	高知地区被害者支援連絡協力会（高知南警察署）
平成29年11月30日	南国警察署被害者支援連絡協力会（南国警察署）

### 5 当センター職員による講演会等の実施

被害者支援に関係する団体のみならず、様々な団体の要請を受け、当センターの活動を紹介するとともに、被害者支援の重要性を訴えた。

実施状況は、次のとおりである。

日時	内容	場所・対象
平成29年 6月 2日	中村地区人権教育研究協議会人権教育研修会	四万十市立中央公民館
平成29年 6月21日	高知県警察専科教養被害者支援専科	高知県警察学校

平成29年 7月 3日	高知市民生委員児童委員協議会連合会役員会	総合あんしんセンター
平成29年 7月 5日	高知市民生委員児童委員協議会連合会会長会	総合あんしんセンター
平成29年 7月13日	高知県警察専科教養性犯罪捜査専科	高知県警察学校
平成29年 8月23日	高知県女性相談センター所内研修会	女性相談センター
平成29年 9月 4日	犯罪被害者等支援ブロック別担当者会	須崎総合庁舎
平成29年 9月 6日	犯罪被害者等支援ブロック別担当者会	幡多総合庁舎
平成29年 9月 8日	犯罪被害者等支援ブロック別担当者会	職員能力開発センター
平成29年 9月11日	犯罪被害者等支援ブロック別担当者会	安芸総合庁舎
平成29年10月 7日	全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会分科会	機械振興会館（東京）
平成29年11月 6日	香美市職員研修会	香美市役所
平成29年11月 7日	香美市職員研修会	香美市役所
平成29年11月13日	高知警察署定例研修会	高知警察署

#### 6 被害者支援出張相談会の実施

平成25年度から、当センター、高知県、高知弁護士会犯罪被害者支援委員会、法テラス高知共催で、出張無料法律相談会を開催している。相談会場は、東部地区会場（安芸市）、西部地区会場（四万十市）で実施し、主として地元の法テラス所属の弁護士と当センターの犯罪被害相談員とが犯罪被害に係る法律相談に応じている。開催日は、東部地区が偶数月の第3火曜日（午後1時30分～3時30分）、西部地区が奇数月の第3火曜日（午後1時30分～3時30分）である。

なお、平成29年度の相談件数はなかった。30年度については、4月より東部・西部地区の各市町村へ、広報の掲載、チラシの配布、回覧版での掲載などの広報活動をお願いし、出張相談会の地域への周知を図って行きたい。

#### 7 犯罪被害者等早期援助団体指定による情報提供

平成24年8月30日、高知県公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受け、被害者等の希望があれば、高知県警察本部長から事件の概要等の情報提供があり、犯罪発生の早期の段階から被害者支援に携わることができることとなった。

平成29年度の受理件数は、2件である。

#### 8 認定特定非営利活動法人の認定

平成26年7月4日付けで、高知県知事から認定特定非営利活動法人（寄付金税額控除対象法人）として認定された。これにより寄付者（賛助会員を含む。）が、税制上の優遇措置の制度を利用することができるようになり、財源確保が有利になったが会員数の増加は隠微な状況にある。

### 第8 被害者等の実態に関する調査及び研究事業

他県における被害者支援の現状、被害者支援センターの在り方、関係機関の開催する講演会、研修会に参加、中四国事務局長会議等において協議するとともに意見交換を行った。

また、司法面接及び性暴力被害者支援に関する先進地視察として、

平成29年10月25日 名古屋地方検察庁

平成29年10月26日 公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター（ぎふ性暴力被害者支援センター）

をそれぞれ訪問し、施設見学や運営及び実施の要領等について学んだ。

## 第9 事業に従事する者の募集並びに養成及び研修事業

### 1 養成講座及び支援員の認定・登録

県・県警・県産婦人科医会・当センターによる「性暴力被害者サポートネットワークこうち」がスタート、当センターにおいても性暴力被害専用相談電話「コーラルコール」を設ける等したことから、例年開催の養成講座についても、昨年度から、一般犯罪に関する「養成講座（基礎講座）」に加え性暴力被害者支援に関する「専門講座（性暴力被害者等支援）」を開催している。

本年度についても両講座を開催し、「基礎講座」は平成29年7月11日から9月28日の間に、裁判傍聴を含む15講座を設け、支援に必要な専門的な研修を実施し、9名が受講し内8名が修了した。その後、同年10月から平成30年2月までの間に実地研修を行った。

「専門講座」については、平成29年10月3日から同年12月21日までに、性暴力被害者支援の第一線にて活躍する県内外の専門家（弁護士、臨床心理士、医療職等）を講師に招聘して実施し、「基礎講座」を修了した8名が受講、全員が修了した。

修了生8名のうち、面接及び書類審査を経て6名が、平成30年4月に支援員として認定・登録した。

支援員は、1年毎に認定を更新し、継続的な研修の機会を設けている。

平成30年4月1日現在の登録支援員数は30名（うち事務局職員5名）。

### 2 性暴力被害者支援研修

平成29年9月2日 高知地区3病院（高知医療センター・国立病院機構 高知病院・高知大学医学部附属病院）の性暴力被害者支援研修会を開催した。

### 3 継続研修会、事案検討会の開催

支援員の専門的知識等の修得や資質向上を図るための継続研修、弁護士と支援員等が合同で実施する事案検討会を開催した。以下のとおり計10回開催し、延べ136名の参加があった。

〔継続研修〕 平成29年4月11日、平成29年5月9日、平成29年10月10日

平成29年11月14日、平成30年1月9日、平成30年2月13日

〔事案検討会〕 平成29年6月13日、平成29年9月12日、平成29年12月15日

平成30年3月13日

### 4 研修会等への参加

公益社団法人全国被害者支援ネットワーク等が主催する研修会・中四国ブロック研修会等へ参加した。研修会等は以下のとおりである。

#### (1) 性暴力救援センター第4回全国研修会

平成29年4月29日（大阪）1名

#### (2) 全国事務局長等研修会

平成29年4月20日（東京）1名

#### (3) 中四国ブロック事務局長等会議

平成29年8月25日（鳥取）1名

平成30年1月19日（香川）1名

- (4) 中四国ブロック研修会  
平成29年8月26日～同月27日（鳥取）4名（質の向上研修上半期研修会）  
平成30年1月20日～同月21日（香川）3名（質の向上研修下半期研修会）
- (5) 経理事務等会議  
平成29年7月7日（東京）1名
- (6) 平成29年度支援活動会議（東京）1名  
平成29年8月4日～同月5日（東京）1名
- (7) 全国犯罪被害者支援フォーラム2017  
平成29年10月6日（東京）5名  
会場 東京都千代田区内幸町2-1-1 「イイノホール」  
【パネルディスカッション】 ～「性犯罪被害者の現状と今後の展望」  
コーディネーター  
熊谷昭彦（公益社団法人被害者支援都民センター 監事・弁護士）  
高橋久代（公益社団法人くまもと被害者支援センター 支援活動責任者  
NNVS認定コーディネーター）  
平成29年度全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会  
平成29年10月7日～平成29年10月8日（東京）5名
- (8) 内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」研修への参加  
平成30年1月9日～同月10日（大阪）2名

## 第10 被害者等の支援に関する広報活動及び啓発活動

被害者支援意識の高揚と犯罪被害者等を社会全体で支え、犯罪被害者等が日常の生活に戻るまでの各種支援の醸成を図るため、広報啓発活動を推進した。

### 1 広報用ポスター等の作成配布

- (1) ポスター、チラシ、ポケットティッシュ、ボールペン等を作成し、街頭での配布や、関係機関等に対しては掲示や来訪者への配布を依頼し、さらに各種会議、講演会等において関係者や参加者に配布した。これにより当センターの活動内容の周知や県民の被害者支援意識の高揚を図った。

〔安全・安心まちづくりひろばへの参加〕イオンモール高知 専門店街1階 南コート

平成29年11月5日 主催 高知県安全安心まちづくり推進会議

〔犯罪被害者週間パレードの開催〕帯屋町アーケード

平成29年12月1日 共催 法テラス高知 後援 高知県、高知県警

〔じんけんふれあいフェスタ〕高知市中央公園（ブース出展）

平成29年12月10日 主催 高知県 高知県教育委員会 高知県人権啓発センター

- (2) 機関誌「ぬくいTOSA」を作成し、会員や関係機関等に配布して当センターの活動を紹介し、当センターへの理解と支援への協力を求めた。

### 2 ホームページの活用

当センターの設立目的や活動内容等の紹介、イベントのお知らせ等を掲載し、被害者支援についての意識の高揚等を図った。

### 3 市町村へ広報活動

各市町村のご協力を得て、市町村の広報紙への掲載、回覧版等を通じてのパンフレット・リーフレットの配布等による広報活動を行った。

### 4 「命の大切さを学ぶ教室」の開催

高知県警察本部と共催で、中・高校生を対象に犯罪被害者のご遺族等を講師として「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、犯罪被害者等の心情の理解、いのちの尊さ等、家庭のあるべき姿等について理解を求めた。実施状況等は次のとおりである。

実施日	会場	対象	講師（被害者遺族）
6月 7日（水）	いの町立伊野南中学校	3年生 24名 教職員4名	市原 千代子氏
6月29日（木）	室戸市立吉良川中学校	全校生徒27名 教職員10名	市原 千代子氏
7月 3日（月）	高知県立中芸高等学校	全校生徒50名 教職員10名	市原 千代子氏
7月18日（火）	室戸市立羽根中学校	全校生徒33名 教職員10名	被害者支援室員
7月19日（水）	仁淀川町立仁淀中学校	全校生徒45名 教職員10名	被害者支援室員
10月17日（火）	高知県立須崎高等学校	2年生 95名	被害者支援室員
10月25日（水）	高知中学校	2年生 250名	市原 千代子氏
10月28日（土）	南国市立北陵中学校	全校生徒 216名	三浦 由美子氏
11月 1日（水）	高知県立窪川高等学校	3年生 32名	被害者支援室員
11月 7日（火）	大豊町立大豊町中学校	2・3年生 26名	三浦 由美子氏
12月 6日（水）	北陵中学校希望ヶ丘分校	全校生徒 20名	市原 千代子氏
12月 7日（木）	大月町立大月中学校	全校生徒 105名	市原 千代子氏
2月 9日（金）	高知県立高知海洋高等学校	1・2年生 78名	三浦 由美子氏
2月14日（水）	高知県立四万十高等学校	1年生 20名	被害者支援室員

### 5 「いのちの出前授業」の開催

平成29年度の新規事業として、高知県警察の監修を受け当センターが作成したDVD「ひろし、今どこにいるの」を教材に、県内の小・中・高校生を対象とした「いのちの出前授業」を開催した。支援員の講話やDVDの視聴、グループワーク等を通し、犯罪がどのように起こるのか、どうすれば防げるのか、被害者等の気持ちを理解して自分に何が出来るのか、いのちがどれだけ大切なのか等について考える構成としている。実施状況は次のとおりであった。

実施日	開始時間	開催校	対象
6月22日（木）	14:15～15:25	室戸市立吉良川中学校	全校生徒27名、教員11名
7月13日（木）	10:45～11:30	南国市立岡豊小学校	5年生23名 1組
7月13日（木）	11:40～12:20	南国市立岡豊小学校	5年生23名 2組
10月24日（火）	13:50～14:40	大豊町立大豊中学校	1年生14名、教員4名
12月 7日（木）	11:45～12:35	いの町立伊野南中学校	1年生23名 教員4名
2月 2日（金）	13:45～14:35	中土佐町立久礼中学校	1年生31名 教員4名

5校6回実施

## 6 犯罪被害者支援講演会の開催（こうち被害者支援センター主催）

〔平成30年1月27日（土）〕

会場 高知市本町5-6-42 「高知会館」 参加 39名  
講師 根ヶ山裕子氏（弁護士、名古屋市西部児童相談所主幹 危機介入）  
「被害児童に対する面接技法と関係機関との連携につて」

## 7 犯罪被害者支援講演会の開催（こうち男女共同参画センター（ソーレ）との共催）

〔平成30年2月3日（土）〕

会場 高知市本町5-6-42 「高知会館」 参加 75名  
講師 加藤 治子氏（性暴力救援センター・大阪SACHICO代表、阪南中央病院産婦人科医）  
「性暴力被害者の実態と支援」～ SACHICOの現場から～

## 第11 前各号に掲げるもののほか、定款第3条の目的を達成するために必要な事業

### 1 会員拡大活動・寄付の依頼

当センターの会員を始めとする関係機関・団体、各種会議出席者等に当センターの活動に関するリーフレットを配布、会議中に口頭で協力依頼するなど、会費・寄付金の増収に努めた。

〔会員数の経緯〕

年度別	団体会員数	個人会員数	合計
平成19年度	121	67	188
平成20年度	126	210	336
平成21年度	128	243	371
平成22年度	123	265	388
平成23年度	125	245	370
平成24年度	122	249	371
平成25年度	121	206	327
平成26年度	122	208	330
平成27年度	119	203	322
平成28年度	137	284	421
平成29年度	140	285	425

\*団体会員・個人会員の退会があり、会員の定着が課題となっている。

〔10万円以上の寄付〕 ※順不同・敬称省略

(株)ジャパンビバレッジ四国（自動販売機） 四国銀行本店（自動販売機）  
四国コカ・コーラボトリング(株)高知営業所（自動販売機） 田村 裕  
一般財団法人高知県警察義会 高知県警察職員互助会  
あいおいニッセイ同和損保ユニゾンスマイルクラブ

### 2 イオンモール高知のイエローシートキャンペーン及びエースワンのスマイルシートキャンペーン等による利益還元キャンペーンへの参加。

毎月11日のイオンの日のイエローシートキャンペーンに参加し20,500円のギフトカードを受領し文具・事務用品を購入した。エースワンのスマイルシートサービスでは94,000円、



ホンデリングでは5件1,820円、Gooddoでは78,660円の利益還元を受けた。Gooddoは1月末で終了した。これまでに多くの応援するにご支援いただきましてありがとうございました。

### 3 日本財団からの助成金

平成29年度は845万円の助成を受けた。

### 4 募金箱の設置

警察署・市役所等の公的機関や銀行等の事業所等の窓口へ募金箱の常設を依頼し、合計42箇所175,603円の募金があった。(赤い羽根共同募金58,000円、募金箱117,603円)

### 5 被害者支援自動販売機設置推進活動

四国コカ・コーラボトリング(株)高知営業所、四国キャンティーン(株)高知営業所ウエストアライアンス高知サービスセンターの協力により、被害者支援自動販売機の設置場所獲得に努力している。平成29年度は12か所に設置協力をいただき、売上げの一部又は全部が設置場所あるいは四国コカ・コーラボトリング(株)高知営業所ウエストアライアンス高知サービスセンターから寄付されている。

また、県警本部の公募により県下19施設に26台設置した(株)ジャパンビバレッジ四国より、売上げの一部が当センターに寄付されている。引き続き社会全体の被害者支援気運の高揚と、安定した財源獲得を目指して、設置場所の増加を図っていきたい。

[設置協力場所 12箇所13台]

四国銀行本店、高知県トラック協会、高知検診クリニック、高知新聞社、高知銀行本店、岸上工務店(2か所)、高知県司法書士会、香美水道組合、南国市緑ヶ丘町内会(2か所)、ワークウェイ、高知城ホール

[県警設置協力場所 19施設26台]

自動販売機寄付金収入額 12箇所(39台)

合計 4,247,048円の収入があった。

### 6 ワンコイン募金活動(ファンドレイジング、財源づくり活動)

11月25日から12月1日の「犯罪被害者週間」の行事の一環として、財源の確保と被害者への支援の輪を広げる活動として、高知県警察を中心にワンコイン募金への協力を依頼し、53件、計546,716円の募金協力があった。

平成29年度中のご支援に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## 第12 その他(会議)

第1回	理事会	平成29年	4月21日	当センター(永国寺)にて開催
	総会	平成29年	5月12日	高知市立自由民権記念館にて開催
第2回	理事会	平成29年	5月12日	高知市立自由民権記念館にて開催
第3回	理事会	平成29年	5月29日	当センター(永国寺)にて開催
第4回	理事会	平成29年	8月31日	当センター(永国寺)にて開催
第5回	理事会	平成30年	3月12日	当センター(越前町)にて開催